

## 令和6年度 亀齢荘事業報告

### 1. 運営の状況

令和2年から続くコロナ禍を経て職員が感染症に対する高い意識を持ち続けた結果、年度を通し継続的なサービス提供を全ての事業所で実施することができました。またコロナ禍対応の行事を各事業所で実施していましたが、見合わせていた亀齢荘秋まつりや徳風園夏まつりを5年ぶりに開催することもできました。引き続き、感染対策を実施しながらもQOL（生活の質）への追及を求め、ご利用者及びご家族に寄り添ったサービス提供を実施し、ご利用者とのコミュニケーション向上に努めてまいります。近年企業にはガバナンス（企業統治）の実施が求められております。当法人もその強化に努めているところで、各ハラスメント対策、職員の精神的・肉体的負担の軽減対策、職員へのメンタルチェック、ICT（情報通信技術）の活用など多岐にわたり取り組んでおり、コンプライアンスを遵守し働きやすい職場づくりを構築しております。その成果もあり、慢性的な人材不足が見込まれている介護業界において、年度を通し多職種人材を安定的に確保することができました。今年度より制定した奨学金制度を活用した外国人介護員の雇用制度を含め、多職種人材の確保に努め、安定した事業運営を図ってまいります。

さて収支については、事業所ごとにばらつきがあり、厳しい決算となった事業所もありましたが、全体として収益を確保することができました。しかしながら、老朽化しつつある施設の改修や人件費増、水道光熱費・資材・食材の断続的な高騰など、取り巻く環境は年々厳しいものとなっております。今後も経費節減や補助金制度を利用しながら良質なサービス提供を実施し、ご利用者に満足いくサービスの提供ができるよう、事業運営に取り組んでまいります。

最後に、令和6年度の介護報酬改定で示された「地域包括ケアシステムの深化・推進」「自立支援・重度化防止に向けた対応」「良質なサービスの効率的な提供に向けた働きやすい環境づくり」「制度の安定性・持続可能性の確保」ですが引き続きこの課題に取り組み、地域に信頼される施設運営を職員一丸となり目指してまいります。

### 2. 各事業所の状況

#### (1) 特別養護老人ホーム亀齢荘

職員全体で感染症対策に取り組んだ結果、また入所者一人ひとりに寄り添った介護サービスに取り組んだ結果、稼働率が対前年比1.8%増の92.0%と高い利用率で推移することができました。また施設行事として家族交流会や秋祭りを5年ぶりに開催できたこと、利用者の多様化したニーズに応えたサービス提供ができたことで、ご入所者様はもちろんご家族様にも非常に喜んでいただくことが出来ました。一方、入所者の平均年齢が84才超、平均介護度が4.3超と高水準で推移したことで、体調急変者や長期入院等が数多く散見し、昨年度は36名が施設を退所することとなりました。この中には施設で看取られることを望んだ16名様が含まれており、施設で最期を看取ることが少しずつ増えている傾向があるところです。さて入所待機者状況ですが、下表のとおり一定の待機者数はおりますので定期的に連絡をとることで待機者の実態把握に努め、スムーズな施設入所を図ってまいります。最後に、多様化する介護サービスに対応している職員への負担増を考慮しつつ、法令を遵守し、多職種協働し利用者の体調変化の早期発見並びにその対応強化を図り、安心安全なサービスの提供に今年度も努めてまいります。

#### ① 入所者の入所状況（90床）

| 年 度 | 利用延人数（年間） | 1日当たり平均利用人数 | 稼働率（%） |
|-----|-----------|-------------|--------|
| 5年度 | 29,718人   | 81.2人       | 90.2   |
| 6年度 | 30,217人   | 82.8人       | 92.0   |

#### ② 入所待機者の状況（R6.3.31現在）

| 待機場所 | 在宅  | 介護老人福祉施設 | 病院  | その他 | 合 計 |
|------|-----|----------|-----|-----|-----|
| 人 員  | 38人 | 4人       | 26人 | 17人 | 85人 |

#### (2) 亀齢荘ショートステイ

感染症による影響から利用制限を実施した時期がありましたが、細心の注意を払いサービス提供を実施したこと、多様化する利用者の要望に応えたサービス提供を実施したこと、必要に応じ空床ベッドを活用し緊急ケースの受け入れを実施したこと等の理由から、1日あたり平均利用人数が7.7人と多くの利用者にサービス提供ができました。引き続き利用区域内の感染症の動向に留意し、地域住民に安心して利用していただける施設運営を行って努めてまいります。

| 年 度 | 利用延人数      | 1日当り平均利用人数     | 稼働率 (%) |
|-----|------------|----------------|---------|
| 5年度 | 2, 6 5 0 人 | 7. 2 人 (1 0 床) | 7 2. 4  |
| 6年度 | 2, 8 0 0 人 | 7. 7 人 (1 0 床) | 7 6. 7  |

### (3) ケアハウス恕宥荘

ADL低下の退所等で空室となる期間がありましたが、年度を通し満床に近い状態を維持することができました。入居者への手厚いサポートを実施する一方、入居待機者へも定期的に連絡を取り待機者の現況の把握に努めてきました。さて現在、入居者の平均年齢が84才を超え、自立生活の援助が必要な方が多く見受けられ半数以上が介護サービスを利用している状況です。快適な居住空間を整備し入居者第一主義のもと温かみある施設づくりに今年度も取り組んでまいります。

(入居者内訳 20名定員)

R 6. 3. 31現在

| 年 度 | 地 域   | 人数  | 地 域   | 人数 | 合計  | 性別 | 人数 | 性別 | 人数  |
|-----|-------|-----|-------|----|-----|----|----|----|-----|
| 5年度 | いわき市内 | 18人 | いわき市外 | 1人 | 19人 | 男性 | 6人 | 女性 | 13人 |
| 6年度 | 〃     | 17人 | 〃     | 1人 | 18人 | 〃  | 6人 | 〃  | 12人 |

(待機者内訳)

|     |       |     |       |    |
|-----|-------|-----|-------|----|
| 5年度 | いわき市内 | 10人 | いわき市外 | 0人 |
| 6年度 | 〃     | 6人  | 〃     | 0人 |

### (4) 亀齢荘デイサービスセンター

令和6年度の利用者は減少となりましたが、新規利用者については増加傾向で推移しました。引き続き、利用者に寄り添いお一人おひとりに適したサービス提供に努め、利用者数増、利用回数増に取り組んでまいります。今年度も各居宅介護支援事業所と連携・情報の強化を図り、安心安全で利用時に満足いただけるサービス提供に努め、地域に信頼される事業所づくりに努めてまいります。

| 年 度 | 類 型   | 年間利用人数     | 一日平均利用人数 |
|-----|-------|------------|----------|
| 5年度 | 標 準 型 | 4, 3 8 4 人 | 1 4. 2 人 |
| 6年度 | 標 準 型 | 4, 2 1 5 人 | 1 3. 7 人 |

### (5) 亀齢荘ホームヘルプサービスセンター

利用者各個人のニーズに応え細やかなサービス提供を行っており、リピート利用が多い状況ですが、サービス利用者の身体レベルの低下から老人施設等への入所や医療機関への入院等で利用回数としては昨年度より減少となりました。ヘルパー職員の高齢化、担い手不足など継続した課題はありますが、現利用者の利用回数の増加を目指し、また限度人数の制限数はあるものの新規利用者の受入獲得を目標に、各居宅介護支援事業所と連携を図ってまいります。

| 年 度 | 訪問介護 (月平均)     | 総合事業 (月平均)     | 合 計 (月平均)      |
|-----|----------------|----------------|----------------|
| 5年度 | 648人 (54人)     | 252人 (21人)     | 900人 (75人)     |
|     | 7, 160回 (597回) | 1, 459回 (122回) | 8, 619人 (718回) |
| 6年度 | 684人 (57人)     | 231人 (19人)     | 915人 (76人)     |
|     | 6, 806回 (567回) | 1, 298回 (108回) | 8, 104回 (675回) |

配食サービスは食材費・燃料費・人件費の高騰等多くの課題があるなか利用件数は減少したものの利用者へ満足いく食事を提供出来ました。令和7年10月より市の委託事業から登録申請事業へと配食事業が変更となり競争の激化が予想されますが、食事困難者へ配食提供できるよう努めます。

| 年 度 | 延べ配食件数   | 月配食件数 |
|-----|----------|-------|
| 5年度 | 2, 4 8 4 | 2 0 7 |
| 6年度 | 2, 3 8 7 | 2 0 5 |

### (6) 亀齢荘居宅介護支援事業所

ケアマネの退職や担当件数上限超過の調整等の理由からケアプラン作成件数が減少となりましたが、現在は人材を確保でき、また計画的なプラン作成も実行している所です。高齢化社会に伴う計画の多様化・困難事例が増加しておりますが、今後も介護支援専門員としての資質向上、専門的知識を高め公正中立な立場を心掛け、地域の相談窓口として役割を遂行してまいります。

| 年 度 | ケアプラン月平均          |
|-----|-------------------|
| 5年度 | 1 1 6 件 (予防24件含む) |
| 6年度 | 1 1 3 件 (予防25件含む) |